

国語 第1学年 せつめいする 文しょうを よもう

授業の設計図

元にした物：小学校学習指導要領（平成29年告示）の原文と、国立教育政策研究所の学習評価の参考資料。教科書の本文・問題・挿絵は入れていません（先生が入れる欄）。光村図書出版の「じどう車くらべ」に合わせた全7時間の案。東京書籍「いろいろなふね」は別の指導案として用意している。

この単元で子どもが最後にできるようになること

読み終えたとき、子どもが乗り物ごとに「何のはたらきをするのか」「そのためにどんな作りか」を自分の言葉で言え、どの言葉に書いてあるかを文章に戻って指せるようになる。文章がいくつかの乗り物を同じ順序（はたらき、作り）で並べていることに気付き、その順序を使って、自分が選んだ別の乗り物も同じ形で説明できるようになる。

学習指導要領のどこに書いてあるか（原文）

学習指導要領の項目	原文
〔第1学年及び第2学年〕	〔第1学年及び第2学年〕
〔第1学年及び第2学年〕の目標 (2)	(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
〔第1学年及び第2学年〕の目標 (3)	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕	〔知識及び技能〕
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕(1)カ	カ 文の中における主語と述語との関係に気付くこと。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕(1)ク	ク 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕(2)ア	ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。
〔第1学年及び第2学年〕〔知識及び技能〕(3)エ	エ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることを。
〔第1学年及び第2学年〕	〔思考力、判断力、表現力等〕
〔第1学年及び第2学年〕C読むこと	C 読むこと
〔第1学年及び第2学年〕C読むこと(1)ア	ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。
〔第1学年及び第2学年〕C読むこと(1)ウ	ウ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。
〔第1学年及び第2学年〕C読むこと(1)カ	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。

学習指導要領の項目	原文
〔第1学年及び第2学年〕 C 読むこと(2)ア	ア 事物の仕組みを説明した文章などを読み，分かったことや考えたことを述べる活動。
〔第1学年及び第2学年〕 C 読むこと(2)ウ	ウ 学校図書館などを利用し，図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み，分かったことなどを説明する活動。

単元の目標

- (1) 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解し、文の中における主語と述語との関係に気付くことができる。〔知識及び技能〕(2)ア・(1)カ)
- (2) 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉え、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。(C(1)ア・ウ)
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。(第1学年及び第2学年の目標(3))

評価規準（3観点）

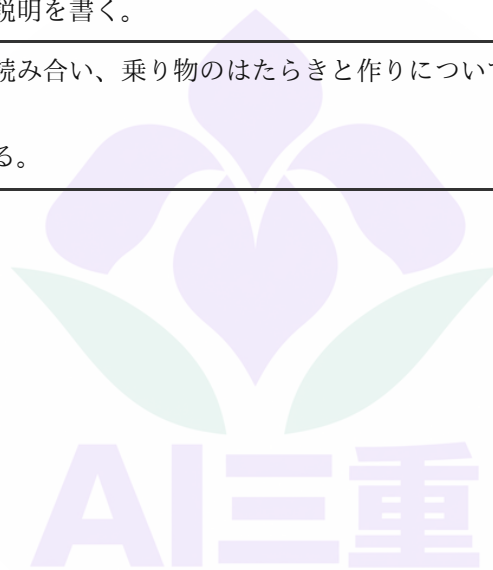
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) ②文の中における主語と述語との関係に気付いている。(1)カ)	①「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C(1)ア) ②「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C(1)ウ)	①進んで、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉え、学習の見通しをもって、乗り物のはたらきと作りについて分かったことを友達に話そうとしている。(粘り強さの「進んで」、学習の調整の「学習の見通しをもって」、重点とするC(1)ア、言語活動のC(2)アを含めた、国立教育政策研究所の参考資料の形)

単元の流れ

光村図書出版『国語（令和6年度版）』年間指導計画による全7時間（読⑦）。各時への活動の配分と本時の選定は、本案の提案である。

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第1次	1	○教師の範読を聞き、知っている乗り物を言い合う。 ○全文を音読し、出てくる乗り物の名前を順に確かめて、乗り物ごとのまとまりで書かれていることをつかむ。 ○はじめのまとまりで、何について書いた文章かを一言で言う。	態①（行動観察） (1)ク（音読の観察）

次	時	学習活動	評価規準（評価方法）
第2次	2	○1つ目の乗り物のまとまりで、はたらきを書いた文と作りを書いた文を見つけて線を引き、表に書き写して、つなぐ言葉を囲む。 ○音読で、主語を指で押さえて述語を読む。	思②（線引き・表） 知②（音読・発言）
	3 （本 時）	○1つ目で学んだ順序を使って、2つ目の乗り物のはたらきと作りを書いた文を自分で見つけ、つなぐ言葉を選び出す。	思①・思②（線引き・表・発言）
	4	○3つ目以降の乗り物も同じ手順で自分で読み、表に足す。	思①・思②（表）
	5	○表を見て乗り物どうしを比べ、はたらきが違うと作りも違うことを話し合う。	知①（表の見出し・発言）
第3次	6	○学校図書館の図鑑から乗り物を1つ選び、「はたらき」「作り」の順で短い説明を書く。	
	7	○書いた説明を読み合い、乗り物のはたらきと作りについて伝え合う。 ○学習を振り返る。	態①（発表・振り返りカード） C(1)カ（共有の様子）



本時の案

本時の目標：1つ目で学んだ順序を使って、2つ目の乗り物のはたらきと作りが書かれた文を自分で見つけ、つなぐ言葉を選び出せる。(C(1)ア・ウ、(2)ア)

段階	学習活動（○主な発問） ・予想される児童の反応	指導上の留意点（◎評価）
導入 (分)	1 前時に作った1つ目の乗り物の表を見て、はたらきと作りを全員で言い直す。 ○「何のはたらきをしていましたか」 ○「そのためにどんな作りでしたか」 2 本時の問いをつかむ。 ○「今日は2つ目の乗り物です。1つ目と同じ順番で書いてあるでしょうか」 【めあて】2つ目の乗り物も同じ順番で書いてあるか、確かめよう。 3 2つ目のまとまりを全員で音読する。	・前時の表を黒板に貼り、1つ目の行は残して2つ目の行を空けておく。 ・作業の前に全員で音読して、文字を追うのが遅い子も同じ所から始められるようにする。
展開 (分)	4 はたらきを書いた文を一人で探し、青で線を引く。 ○「はたらきを書いた文はどれですか」 5 作りを書いた文を探し、赤で線を引く。 ○「作りを書いた文はどれですか」 6 隣の人と線を見せ合い、違う所を文章に戻って確かめる。 7 全体で発表し、黒板の表に書き込む。 8 はたらきと作りをつなぐ言葉を見つけて囲む。 ○「はたらきと作りは、どの言葉でつながっていますか」 〈予想される児童の反応〉 ・はたらきの文に線を引く。1文ずれて引く子もいる。 ・挿絵を見て答える。 ・はたらきと作りを逆に言う。 ・理由や目的を表す言葉を見つける。	・問いは1つずつ出し、線の色を分けて何を探しているかが目で分かるようにする。 ・はたらきと作りを混ぜる子には「それは何をするための文?」「形や部品のこと?」と聞き、区別を言葉で言わせる。 ・絵で答えた子には「どの文に書いてある?」と聞いて文章に戻す。 ・早く終わった子には「1つ目と同じ順番だった?」と聞いて比べさせる。 ・ICTがあれば本文の該当部分を大きく映し、線を引く操作を全員に見せる。どの文かを全員で確かめやすくなる。 ・つなぐ言葉は、使う教科書で確かめて先生が書き入れる。 ◎思② 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(線引き・表)
まとめ (分)	9 表を見ながら、2つ目の乗り物のはたらきと作りを隣の人に一文で言う。 10 学習をまとめる。 【まとめ】2つ目の乗り物も、はたらき、つなぐ言葉、作りの順で書かれている。 11 振り返りカードを書く。	・振り返りカードには「今日分かったこと」と「次は自分で見つけられそうか」を短く書かせる。丸を付けるだけでもよい。 ・表は単元の終わりまで同じ形を使い、3つ目以降は自分で埋める見通しをもたせる。 ◎思① 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(隣の人への説明・表)

板書の構造（縦書き・右から左へ）

右端：日付・題名とめあて（2つ目の乗り物も同じ順番で書いてあるか）。

中央：表。乗り物ごとに右から段を分け（右に1つ目、左に2つ目）、それぞれ上から「乗り物の名前」「はたらき（何をする）」「作り（どんな形・部品）」「つなぐ言葉」を書く。1つ目は前時の物を残し、2つ目を今日書き込む。

左端：今日のまとめ（はたらき、つなぐ言葉、作りの順で書かれている）。

つまずきやすい所と手当て

つまずき①はたらきと作りの区別。低学年は「何をするか」と「どんな形か」を一緒に受け取りやすい。表の見出しを「何をする」「どんな形・部品」と動詞と名詞で書き分ける。②つなぐ言葉の読み落とし。理由や目的を表す言葉を読み飛ばして結果だけ覚える。囲む作業を毎回入れて言葉で確かめる。③絵で答える。挿絵で答えて文に戻らない。「どの文に書いてある？」で戻す。④主語と述語。長い文で「何が」「どうする」がつかめない。主語を指で押さえて述語を読む練習を音読に入れる。⑤音読で語のまとまりが切れない（1ク）。範読の追い読みと、区切りの線を入れる。

プリントの案

はたらきと作りの表

行に乗り物の名前、列に「はたらき（何をする）」「作り（どんな形・部品）」「つなぐ言葉」「見つけた文の番号」を置いた表。乗り物の名前は空欄にして、教科書の順に書き入れる。(2)アの情報と情報との関係の理解を表の形で確かめる。

なにが、どうする（主語と述語）

乗り物の説明によくある形の短い文（例文は先生が教科書とは別に作る）に、「なにが」に線、「どうする」に二重線を引く練習。(1)カの主語と述語の関係への気づきのため。

わたしののりものカード

学校図書館の図鑑で選んだ乗り物について、「名前」「はたらき」「作り」「つなぐ言葉」の順に1文ずつ書く枠と、絵を描く枠。C(2)ウの、図鑑などを読んで説明する活動で使う。

出典：小学校学習指導要領（平成29年告示）本文（文部科学省）。目標・内容・第3の指導計画の作成と内容の取扱いはこちらから（https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_kyoiku02-100002604_01.pdf）／「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 国語（国立教育政策研究所、令和2年3月）。評価基準の文末の形（知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、主体的に学習に取り組む態度は「～しようとしている」で①粘り強さ②自らの学習の調整③重点とする内容④言語活動を含める）と、巻末資料のC読むこと第1学年及び第2学年の「内容のまとまりごとの評価基準（例）」に合わせた（https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_kokugo.pdf）／光村図書出版 年間指導計画。現在の単元範囲・時数・重点項目の出典。年間指導計画例 Excel（1年）「1年下巻」29行目

（https://www.mitsumura-tosho.co.jp/download_file/view/088f2846-983b-455d-b185-6c3a18a27671/368）

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

